

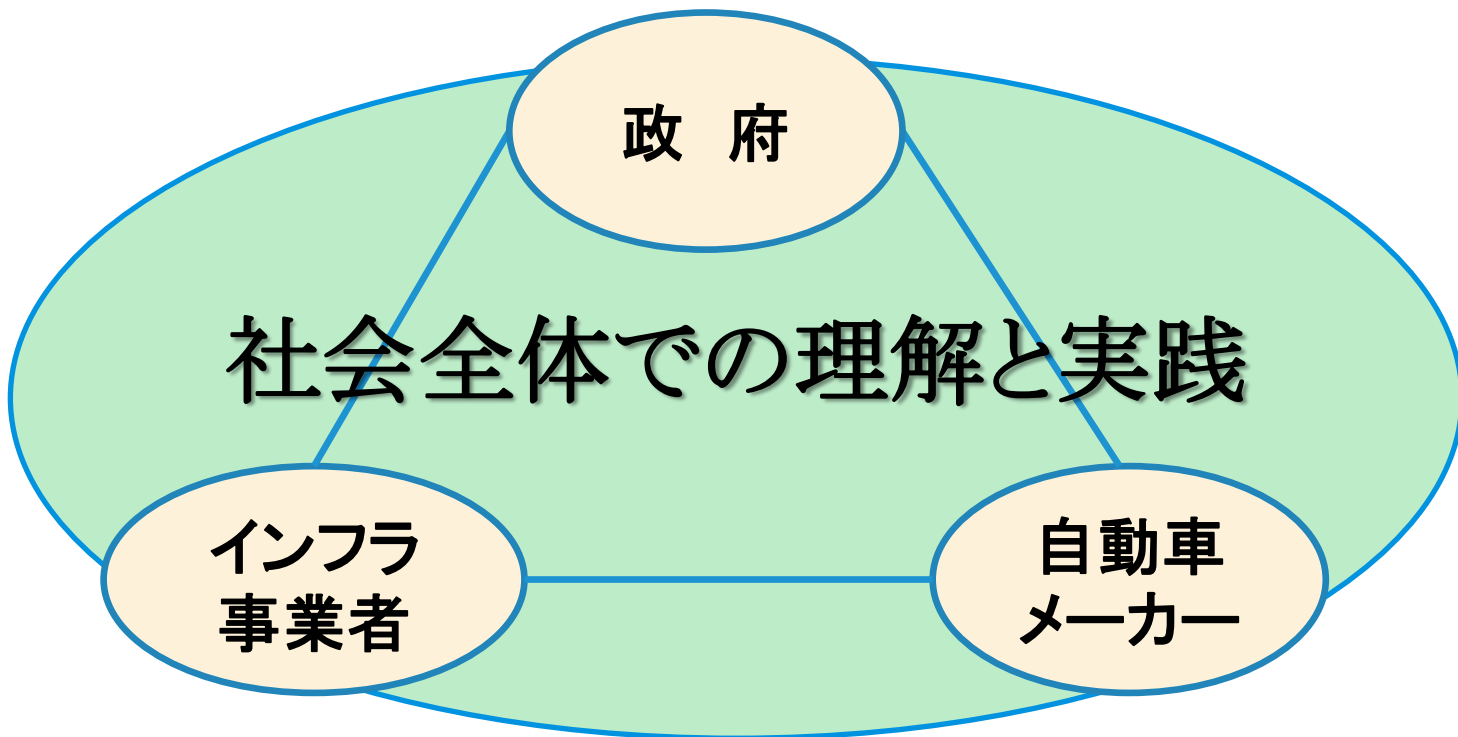
# 自動車メーカー3社による 水素ステーションの整備促進支援

2015年7月1日

トヨタ自動車株式会社  
日産自動車株式会社  
本田技研工業株式会社

# 水素社会の実現を目指して

エネルギー・環境問題への対応が求められる中、  
水素社会の実現を目指した取り組みが急がれる  
⇒官民連携による取り組みが重要



# 1. 燃料電池自動車普及のために

## 1) 魅力ある商品の提供

- ・自動車3社は燃料電池自動車を導入

**TOYOTA** : 2014年12月販売開始

**HONDA** : 2015年度中に販売開始予定

**NISSAN** : 早ければ2017年に販売開始予定



TOYOTA MIRAI



Honda FCV CONCEPT



NISSAN 「TeRRA(テラ)」  
2012年FCEVコンセプト

# 1. 燃料電池自動車普及のために

## 2) 水素ステーションの整備

### 【インフラ事業者】

- ・81カ所74基整備（7/1時点）

### 【政 府】

- ・設置費・運営費の一部支援
- ・様々な規制の見直し



### 燃料電池自動車 導入初期の課題

- ・燃料電池自動車の普及台数が少なく、ステーションの稼働率が低い
- ・インフラ事業者によるステーションの運営は容易ではない

## 2. 自動車3社の今後の取り組み

【狙 い】

**燃料電池自動車の**

**新たな需要創出・普及促進のために、**

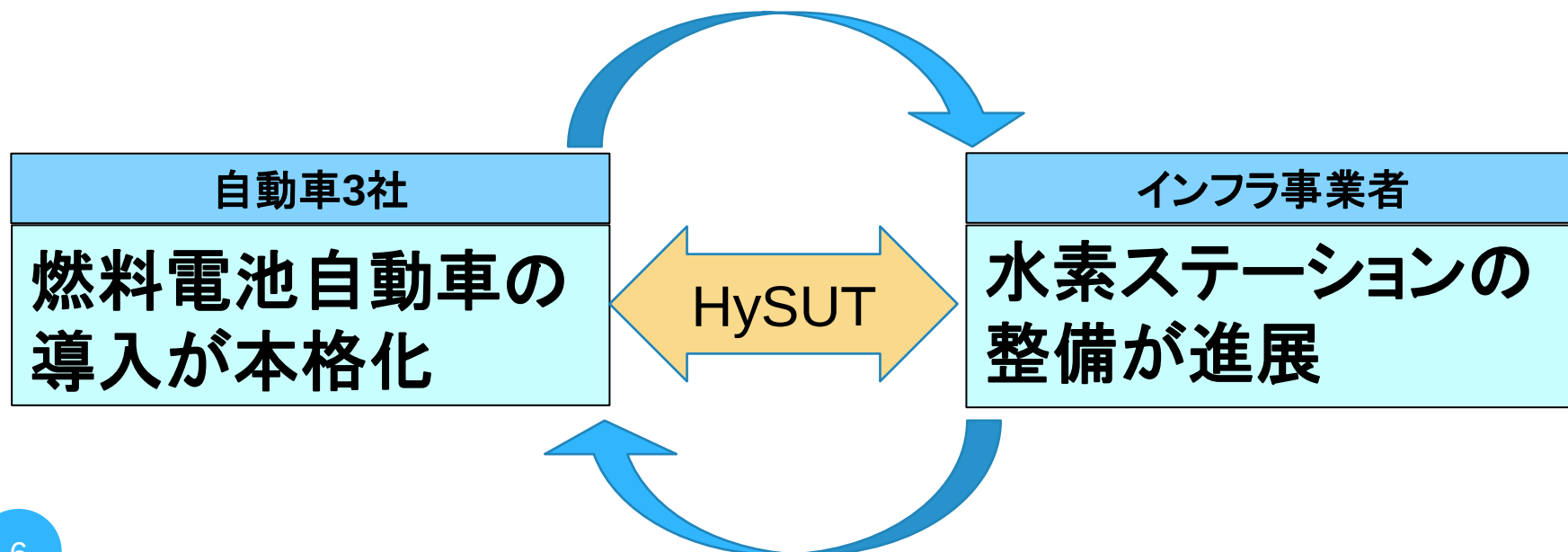
**水素ステーションの整備促進を図る**

## 2. 自動車3社の今後の取り組み

### 【取り組みスタンス】

**中期的な視点(2020年頃までを予定)で取り組む**

**⇒政府施策と協調し、水素ステーション整備を後押し**



## 2. 自動車3社の今後の取り組み

### 【取り組み項目】

**1) 水素ステーションの運営支援**

**2) お客様に安心して燃料電池自動車  
にお乗りいただくための  
水素充填環境づくり**

# 1) 水素ステーションの運営支援

|      |                                                                                                                                                                           |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 対象者  | ◆HySUTの組合員                                                                                                                                                                |
| 支援基準 | <p>◆次世代自動車振興センター(NeV)の<br/>「新規需要創出活動補助事業」で認められた<br/>水素ステーションの運営に係る経費<br/>(人件費や修繕費等)</p> <p>◆支援割合は1/3、かつ、<br/>支援上限額は1基当たり年間1,100万円</p> <p>※移動式で2カ所以上運営の場合、上限は年間1,300万円</p> |



# 1) 水素ステーションの運営支援

|             |                                                |
|-------------|------------------------------------------------|
| 支援基数        | ◆まずは100基が整備され、<br>その後も着実に漸増する規模を想定             |
| 支援総額        | ◆50～60億円程度の見込み                                 |
| 申請受付<br>開始日 | ◆2015年7月1日から（2015年度分）<br>※2016年度以降は、別途申請を受け付ける |
| 特記事項        | ◆NeVによる補助の開始が<br>上記開始日より早い場合、遡って支援             |

## ２） 水素充填環境づくり

### 【取り組み項目】

① お客様サービスの向上

② 水素ステーションの利便性の向上

③ 燃料電池自動車・水素に対する理解促進

## 2) 水素充填環境づくり

### ① お客様サービスの向上

⇒お客様ニーズの把握やトラブル情報の共有・解析を通じて、お客様の満足度を向上

#### 【主な取り組み項目】

- ・ 水素ステーションを利用するお客様からのご意見の集約・共有
- ・ より安全・安心なステーション運用に向けた、トラブル情報の共有、トラブルの解決

## 2) 水素充填環境づくり

### ② 水素ステーションの利便性向上

⇒お客様が安心して水素ステーションを利用できるようにする

#### 【主な取り組み項目】

- ・ガソリンスタンドと遜色のない、利便性の高い営業日数・営業時間の確保
- ・水素ステーション運営情報の充実とナビ等を通じたお客様への開示
- ・多くのお客様がアクセスしやすい  
効率的な水素ステーション整備に資する情報収集

## 2) 水素充填環境づくり

### ③ 燃料電池自動車・水素に対する理解促進

⇒広く一般の方への認知向上・理解促進のため、  
様々なPR・啓発活動を展開

#### 【主な取り組み項目】

- ・ 水素ステーションの見学会・体験会
- ・ お客様への水素社会に関する広報活動

# 水素社会の実現を目指して…3者が連携

